

科目名		小児科専門医養成講座	
科目責任者	楠原浩一	(小児科学 教授)	
担当者	保科隆之	(小児科学 准教授)	
開講時期:	1～4年次	単位数:	2 単位
		時間数:	90分× 15 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>小児科専門医に求められる、子どもの総合診療医、育児・健康支援者、子どもの代弁者、学識・研究者、コーディネーターとしての役割を理解し、実践する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 子どもの身体と心、発育の全体像を把握し、全人的な医療を実践することができる。 2) 子どもの誕生から、成長し次世代の子どもを持つようになるというライフサイクルを見据えた成育医療を実践することができる。 3) 医療や福祉に関する法律、制度、社会資源を熟知し、それらを活用することができる。 4) 多様な考えや背景をもつ患者・家族に対して、共感的で真摯な態度で接して信頼関係を築き、医療を提供するだけでなく、心理的・社会的な支援を行うことができる。 5) Common diseasesに対応し、子どもの発育・発達を総合的に支援する。 6) 健康診査や予防接種を通して、子どもの健康や発達を支援し、小児疾患の予防に関わる医学的知識と技術をもとに健康支援と予防医療を実践することができる。 7) 最新の医学情報を把握して医療を検証し、高次医療の導入を図り、病態究明や診断・治療法の開発に関わる研究を推進することができる。 8) 子どもに関わる社会的問題を認識し、子どもや家族の代弁者として問題の解決にあたることができる。 9) 子どもの健全な発育を支援し、疾患を治療するために、他の医療専門職と協力して強固なチーム医療を実践することができる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度30%、課題レポート30%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		